

○まちを緑にする会は市民が会員

行政と市民が共に緑と水が調和した潤いと安らぎのあるまちづくりを進めるために昭和46年に発足したまちを緑にする会。これは市民が会員となっている市民運動組織です。自治会をとおして各世帯から集めた年間15円の会費を基に、人生の節目に贈られる人生記念樹のプレゼントや市民が参加する緑と花の講習会、生垣づくり奨励金事業などの緑化啓発・推進事業をしています。活動内容など詳しくは二次元コードのホームページをご覧ください。



●あかぎの輝きを抽選販売

200株を抽選販売します。
時 10月5日(日)9時～12時
場 敷島公園門倉テクノばら園
¥ 1株1,800円
申 9月16日(火)までに二次元コードの本市ホームページで(1世帯1応募)



問 公園緑地課
☎027・898・6845

○土地の利用変更は届け出を

土地の利用状況や住宅用地の面積を変更した場合は、届け出てください。なお、次のいずれかに該当する土地の所有者は、住宅用地異動申告書を市役所資産税課へ提出してください。

- ①店舗などを住宅に改造し、住宅用地にした
- ②住宅を店舗などに改造し、住宅用地でなくなった
- ③店舗などの併用住宅で、居住部分とそれ以外の部分の床面積を変更した
- ④廃業などに伴い工場・店舗などの事業用家を住宅用の物置などに変更した(住宅と同一の敷地内にあり事業用物品などを撤去した家屋に限る)
- ⑤住宅用地の拡張により、隣接する宅地を利用し始めた
- ⑥住宅用地の一部を貸し駐車場にしたか、貸し駐車場部分を廃止した。

問 同課
☎027・898・6217

○都市計画審議会の傍聴

時 9月29日(月)14時～15時30分
場 議会庁舎3階301会議室
対 一般、先着10人

○赤十字施設の合同イベント

県内の赤十字施設の合同イベント「ぐんま赤十字フェスタ2025」を開催。車両展示や子ども向け医療現場体験、キッズ赤十字救護服着用、献血・講演、体組織測定などを実施します。

時 9月23日(火)10時～16時
場 けやきウォーク前橋(文京町二丁目)
問 日本赤十字社群馬県支部
☎027・254・3636

○お見合い交流会で出会いを

結婚相談員がコーディネートするお見合い交流会を開催します。
時 10月19日(日)13時30分～16時



蝶花楼 桃花さん

大胡シャンテマルエホール

☎027-283-1100
● シャンテ寄席
蝶花楼桃花独演会
時 12月7日(日)14時
¥ 全席指定3,000円
申 同館へ



○文化協会

☎027・289・6521

●市民芸術文化祭

①日本の名曲を踊る部会第2回やなぎ会のごつごい

時 10月5日(日)13時30分
場 スロXまえばし福祉会館

②吟剣詩舞道発表会

時 10月11日(土)13時
場 昌賢学園まえばしホール小ホール

③短歌・俳句・川柳・自然趣味盆栽合同作品展

時 11月14日(金)～16日(日)、9時～16時
(14日(金)は13時から、16日(日)は15時まで)
場 昌賢学園まえばしホール大展示ホール

短歌と俳句、川柳の作品を募集します。

平和への祈りを込めて
まえばし平和展を開催

問 社会福祉課
☎027-898-6988

平和を祈念し、「まえばし平和展～平和への祈り」を開催。市民が作成した折り鶴やメッセージカードの展示に加え、特別支援学校の児童・生徒などによるアート作品を展示する障害者作品展も同時開催します。また、9月20日(土)には、市戦没者追悼式を開催します。

時 9月21日(日)まで(戦没者追悼式は、20日(土)13時30分～14時30分)
場 K'BIX まえばし福祉会館

※本紙8月号11ページに掲載した「まえばし平和記念の日」は、正しくは「まえばし平和祈念の日」です。お詫びして訂正いたします。

○教育委員会定例会の傍聴

時 9月17日(水)14時
場 市役所11階北会議室
対 一般、先着10人
申 当日13時30分～50分に会場へ直接
問 教育委員会事務局総務課
☎027・898・5802

催し

○大室古墳群を巡り歴史を学ぶ

古墳の語り部が、大室古墳群を案内します。歩きやすい服装で参加してください。



○ミツバチから学ぶまちづくり

銀座ミツバチプロジェクト副理事長の田中淳夫さんを講師に「銀座のミツバチに学ぶ都市環境の未来」と題し講演会を開催します。
時 9月10日(火)14時30分～16時
場 つどにわホール(しのめ信用金庫前橋営業部・千代田町二丁目)
対 一般、先着80人
申 9月9日(火)までに二次元コードのホームページで
問 まちづくり公社
☎027・289・5565

出品料 〃〈短歌・俳句〉1,000円(川柳)500円

申 10月9日(木)(必着までに郵送で。自作の短歌・俳句(短冊、色紙、条幅を記入)・川柳・住所・氏名を記入し、短歌は〒371・0105富士見町石井1579・1700・岡田正子さん(☎027・260・5172)、俳句は〒379・2147亀里町1214・1・栗原保幸さん(☎027・265・0076)、川柳は〒371・0837箱田町42・11・三村悦子さん(☎027・252・1764)へ

○市民の茶席

時 9月15日(月)10時～15時
場 中央公民館3階ホワイエ
講師 前橋茶道会・村上示伸さん
¥ 500円(小学生以下は300円)
問 中央公民館
☎027・210・2199

○前橋けいりん

時 〈本場〉9月1日(月)～3日(水)〈場外〉9月1日(月)～7日(日)・12日(金)～15日(月)・22日(月)～30日(火)
問 公営事業課
☎027・235・2000

9月の上映作品

『長崎一閃光の影でー』劇場版 時をかける愛』ほか

詳しくは同館ホームページをご覧ください。



前橋シネマハウス
MAEBASHI CINEMA HOUSE
問 ☎027-212-9127 (火曜休館)

『黒川の女たち』(公開期間=9月6日(土)～19日(金))

小学生の時に観たアニメ『蒼い記憶 満蒙開拓と少年たち』で描かれた、満蒙開拓団の少年たちの悲劇が今も記憶に残っています。1931年の満州事変をきっかけに、中国の満州を占領した日本は、日本各地から満州に開拓団を送ります。本作『黒川の女たち』は、満州で起こった悲劇と差別の歴史を、『ハマのドン』の松原文枝監督が紡ぎ出します。日本の敗戦が濃厚になる中、1945年8月にソ連軍が満州に侵攻。開拓団の人々は過酷な状況に追い込まれました。岐阜県から渡った黒川開拓団の人々は生きて日本に帰るため、15人の女性を性の相手として差し出し、敵であるソ連軍に助けを求めます。帰国後、女性たちを待ち受けていたのは差別と偏見の目でした。心身ともに傷を負った彼女たちの声はかき消され、この事実は長年伏せられてきました。しかし、戦後約70年が経った2013年、黒川の女性たちは手を携え、幾重にも重なる加害の事実を公の場で語り始めたのです。(支配人・日沼 大樹)